

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

平成 27 年度事業分

平成 28 年 7 月作成

伯耆町教育委員会

目次

○はじめに	1
○教育委員会の活動状況	2
○点検と評価の方法	6
○伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート	9

■はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが法第26条第1項に規定されており、これに基づき、前年度における伯耆町教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価し、その結果をとりまとめたものです。

○点検及び評価の目的

伯耆町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価することによって、課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るものです。

○点検及び評価の対象

伯耆町教育委員会が平成 27 年度に取り組んだ主な事務・事業を対象とします。

○伯耆町教育委員会委員名簿(平成28年4月1日現在)

教育長	後 藤 弥
教育長職務代理	仲 倉 玄 雄
委 員	田 中 榮美子
委 員	大 木 寿 之
委 員	松 岡 和 代

○教育委員会の組織図



■教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況

開催日	会議別	案件区分	案件名
4月 8日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	平成27年4月1日付け伯耆町教育委員会事務局職員の人事異動及び非常勤特別職員の任命の専決処理について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	溝口地域新しい学校創り準備協議会において選定された新小学校名について
		協議	平成27年度伯耆町社会教育計画について
		協議	県市町村教育委員会研究協議会・西部地区町村教育委員会研究協議会の役割について
5月 1日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	学校評議委員の委嘱について
		議事	学校校務分掌主任等の任命について
		議事	学校関係者評価委員の委嘱について
		議事	学校運営協議会委員の委嘱について
		協議	溝口地域新しい学校創り準備協議会における新小学校名の再検討結果について
		協議	人権擁護委員候補者の推薦について
6月 1日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	第15回伯耆町小学校統合に関する調査特別委員会の報告状況について
		議事	文化財保護審議会委員の任命について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	平成27年度教育委員会関係補正予算の原案について
		その他	学校計画訪問について
		その他	鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会及び研究大会について
		その他	中国地区市町村教育委員会連合会研修大会について
7月 10日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	6月定例議会等提出案件の結果について
		報告	標準学力調査の結果について
		議事	伯耆町教育委員会表彰規定の制定について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	事務連絡

8月10日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	伯耆町立小中学校通学区に関する規則の一部改正について
		議事	伯耆町学校体育施設開放に関する規則の一部改正について
		議事	平成28年度に使用する中学校教科用図書の採択について
		議事	特別支援教育奨励費の支給の認定について
		協議	伯耆町立小中学校設置条例の一部改正について
		その他	読谷村教育交流事業報告について
		その他	事務連絡
8月24日	臨時会	報告	溝口地域新しい学校創り準備協議会の進捗について
		協議	平成27年度教育委員会関係補正予算(第2号)の原案について
		協議	平成26年度教育委員会関係決算の原案について
		協議	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について
		協議	人権擁護委員候補者の推薦について
		その他	事務連絡
10月2日	定例会	報告	溝口公民館事業進捗状況
		報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	溝口地域新しい学校創り準備協議会の進捗状況について
		報告	9月定例議会提出案件等の結果について
		報告	全国等中学校総体の結果について
		報告	平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	校区外就学について
		その他	事務連絡
11月19日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	溝口地域新しい学校創り準備協議会の進捗状況について
		議事	教育委員会委員の辞職について
		議事	伯耆町スポーツ推進審議会委員の任命について
		協議	総合教育会議の原案について
		その他	事務連絡
12月8日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	西部就学指導委員会審査結果について
		議事	伯耆町議会議案に対する意見について
		協議	12月定例町議会の教育委員会関係提出案件について

		その他	平成28年度伯耆町教育に関する要望書について(PTA協議会)
		その他	平成28年度当初予算編成に係る要望書について(校長会)
		その他	事務連絡
1月15日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	12月定例町議会の教育委員会関係提出案件等の結果について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	伯耆町いじめ問題調査委員会等設置条例(案)について
		その他	事務連絡
2月19日	定例会	報告	岸本公民館事業の概要について
		報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	溝口地域新しい学校創り準備協議会の協議状況について
		議事	教育長職務代理者の指定について
		協議	人権擁護委員候補者の推薦について
		協議	鳥取県西部町村就学指導推進協議会の名称変更及び規約を変更する協議について
		協議	伯耆町いじめ問題調査委員会等設置条例の制定について
		協議	第2次伯耆町男女共同参画推進計画の策定について
		協議	平成27年度教育委員会関係補正予算(第5号)の原案について
		協議	平成28年度教育委員会関係当初予算の原案について
		その他	平成27年度伯耆町教育委員会表彰について
		その他	平成27年度小中学校卒業式と平成28年度小中学校入学式について
		その他	事務連絡
3月14日	臨時会	議事	平成28年度伯耆町立小中学校の教職員の人事異動内申について
		その他	3月定例町議会一般質問について
		その他	事務連絡
3月25日	定例会	議事	伯耆町教育振興基本計画の見直しについて
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	平成28年度伯耆町学校教育基本方針について
		協議	平成28年度社会教育計画について
		その他	平成28年度学力向上の取組について
		その他	各種委員会等への当て職の取り扱いについて

開催回数		13
案件数	報告件数	34
	議案件数	25
	協議件数	21
	その他件数	21
	合計	101

2. 教育委員会関係会議・事業等

(1) 教育委員研修会・会議

- 市町村教育委員会研究協議会
- 鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会総会・研修会
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会総会・研修会
- 西部町村教育広域連携事業推進研修会

(2) 学校関係事業・行事

- 学校計画訪問 全小中学校
- 運動会・体育祭 全小中学校
- 学習発表会・文化祭 全小中学校
- 入学式・卒業式 全小中学校
- 教職員着任式・離任式

(3) その他

- 総合教育会議(2回)

平成 27 年度 主要事業の点検評価

当該年度に取り組んだ、主要な事業について、事務の執行状況とそれに対する点検・評価の結果を報告する。

□点検と評価の方法

平成 27 年度の教育委員会所管の業務のうち、次の点検・評価対象事業の成果と課題等について、教育委員会事務局による点検・評価を行い、この結果に対して、社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、小中学校PTA会長、スポーツ審議会委員、学校支援地域本部地域教育協議会委員及び教育委員に意見等を求めた。

□点検・評価対象事業

伯耆町教育振興計画の事業展開方針に基づき、27年度に取り組んだ事業を対象とする。

1. 学校教育関係事業基本方針「社会の一員として自立して生きてゆく児童生徒の育成」

(1) 学校・家庭・地域の連携

①教育の原点である家庭教育力の向上

- ・家庭と学校の連携強化
- ・家庭学習の手引の活用推進及び利活用方法の周知徹底
- ・生涯学習事業や子育て対策事業との連携 など

②地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組みづくり

- ・学校支援地域本部事業
- ・コミュニティ・スクール推進事業
- ・スクールガードリーダー事業
- ・青少年育成伯耆町民会議との連携 など

(2) 保・小・中の滑らかな接続

①一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の改善

- ・幼保小接続推進事業
- ・小中学校教員・児童生徒の交流
- ・中学校教員の小学校への派遣
- ・定期的情報交換会の実施 など

(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

①確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- ・学力向上施策の推進
- ・人権・道徳、食育、体験学習、郷土学習など人間力育成教育の推進
- ・スポーツの啓発
- ・ALTの配置
- ・学力調査の実施 など

②発達段階に応じた、きめ細やかな指導体制の充実

- ・特別支援学級及び就学支援体制充実
- ・学校運営の改善支援
- ・学習支援員の配置
- ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー配置 など

(4) 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備

①教員の資質向上と一人一人の子供に教員が向き合うための環境整備

- ・教職員研修の充実
 - ・専門家の活用などによる小中学校への的確な指導助言の実施
 - ・少人数学級の継続
 - ・学習支援員の配置
 - ・学校図書館職員の配置 など
- ②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備
- ・学校施設整備
 - ・学校配置方針の決定
 - ・学校事務共同処理 など

2. 社会教育関係事業基本方針 「学び続けるための基盤づくり」

(1) 生涯を通じて学ぶための環境の整備

①生涯学習の推進

- ・社会教育施設の改修・修繕と空公共施設の有効活用
- ・公民館を核とした住民活動の支援と関係課との連携
- ・生涯学習情報の積極的な発信
- ・公民館活動のさらなる充実と参加者の増
- ・地域指導者の発掘
- ・図書館の利用促進と読書活動の推進
- ・成人団体の育成 など

②生涯スポーツの推進

- ・関係課と連携した健康事業の推進
- ・スポーツ関係団体の育成及び活動支援
- ・体育施設の維持修繕及び利用促進
- ・各種スポーツ大会の実施 など

(2) 町全体で取り組む青少年の健全育成

①町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備

- ・青少年育成伯耆町民会議、こども会育成連絡協議会等関係団体の活動支援
- ・PTA協議会等との連携強化と活動支援
- ・青少年によるボランティア活動の推進
- ・地域指導者の発掘 など

②家庭教育の充実

- ・「共育」環境づくり
- ・放課後子ども教室の設置
- ・スクールガードリーダーの配置
- ・学校や関係課と連携した子育て教室等の開催 など

(3) 人権尊重のまちづくりの推進

①人権教育・人権啓発の推進

- ・明るいまちづくり懇談会の充実等教育・啓発活動の推進
- ・人権教育・啓発推進協議会の活動支援
- ・相談業務の拡充
- ・個別計画に基づく事業の推進 など

(4) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造

①文化財の保存と活用

- ・文化財調査及び文化財保護
- ・文化財教室等の開催

- ・郷土学習の支援
- ・情報発信、周知活動の充実 など
- ②地域芸術文化の振興
 - ・伝統行事や地域文化活動の開催等支援
 - ・文化施設の維持修繕及び利用促進
 - ・芸術文化活動の発表の場づくり
 - ・芸術文化団体・人材の活動支援と活動の周知 など

2. 評価方法

(1) 評価記号の説明

評価記号	説明
◎	・新規に企画された事業で目標が達成された事業
○	・継続事業で目標が達成された事業 ・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業
△	・継続事業で目標がほぼ達成された事業 ・新規に計画された事業で目標達成が不十分な事業
▲	・継続事業で目標達成が不十分な事業 ・新規に計画された事業で目標がほとんど達成されなかった事業
●	・実施しなかった事業又は目標がほとんど達成されなかった事業

※新規事業は、継続事業よりも企画・調整・準備等に多くの時間・労力を要するため評価を高くしています。

(2) 評価基準

「(1) 評価記号」の説明	達成値
「目標が達成された」	90%以上
「目標がほぼ達成された」	70%以上 90%未満
「目標達成が不十分」	50%以上 70%未満
「目標がほとんど達成されなかった」	30%以上 50%未満
「実施しなかった」	30%未満

(3) 目標達成の判断基準

- ◇ 事業が目標の趣旨に沿って行われたかどうか
- ◇ 予算執行が適切な時期までに行われたかどうか
- ◇ 会議、イベント等が適切な時期に行われたかどうか
- ◇ 年度当初に作成された実施計画等に予定された事業が実施されたかどうか
- ◇ イベント等の講師・指導者の選定が適切になされたかどうか
- ◇ イベント等の広報宣伝が適正になされたかどうか
- ◇ 会議、大会等の案内状の発送が適正になされたかどうか
- ◇ 参加率の向上のための手立てが適正になされたかどうか
- ◇ その他不適切な部分がなかったかどうか

平成 27 年度事業 伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(1) 学校・家庭・ 地域の連携	① 教育の原点 である家庭 教育力の向 上	1	伯耆町教育振 興会事業 ・地域教育	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び 出先機関で組織を構成し、各種専門部会を 設置して、町の幼児・学校教育の研究推進 や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、学校、社会教育施設の連携推進に重点目標を設定し、3回の部会及び各自研修として夏休みのお楽しみ、土曜授業等へ参加し報告書をとりまとめることができた。 主な活動：事例紹介「溝口中学校における公民館との連携」 事業報告「放課後子ども教室の現状」 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		2	家庭学習の手 引き配布事業	総務 学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達 段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣に ついて、解説した「家庭学習の手引き」を小 学校新入学生に配布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習のあり方、望ましい生活習慣について、手引きを 使った指導を行った。 ・「家庭学習の手引き」を「家庭教育ハンドブック」に改編。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
	② 地域全体で 子どもを育 み、地域が学 校を支える仕 組みづくり	3	学校運営協議 会運営事業	総務 学事	学校運営協議会制度(コミュニティ・スク ール)を導入し、保護者・地域・学校が一体と なって、学校経営に参画し、地域に開かれ、 地域に根差した学校づくりに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに溝口中学校に学校運営協議会を設置する準備が 整った。各学校の課題や学校評価について熟議し、学校運 営に協力していく機運が高まった。 ・二部小、岸本中に学校運営協議会を設置することで、全町 のコミュニティ・スクール化が整い、中学校区ごとに熟議が進 む。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		4	学校支援地域 本部事業	生涯 学習	地域住民が教育に関心を持ち、学校の教 育活動に関わることで、子供たちに多様な 体験と交流の機会を提供し、確かな学力と 人間力を向上させる。大人にとっても、新し い仲間づくり、生きがいがづくりなど、地域の 絆づくりに繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> ①支援実績 学習支援 258件 環境整備 36件 学校行事 39件 ②会議 地域教育協議会 1回 実行委員会 4回 コーディネーター定例会 9回 ③研修 6月23日 学校支援ボランティア研修会 2月17日 学校支援ボランティア研修会 3月5、6日 人づくり・地域づくりセミナーin山口 ④学校支援活動成果報告・交流会(2月6日) 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
						<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの世代交代、学校運営協議会との連携 		

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
				岸本 公民館		<p>・学校、地域、公民館教室等の連携をもとに、自然体験、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図った。・夏休み公民館教室協力事業は、11回の開催で延べ52名の参加があった。・夏休み岸本公民館主催事業では、星の観察会、巣箱作り、お弁当クッキング、県の施設見学など、6回の開催で延べ95名の参加があった。岸本中学校創作部員6名の協力もあった。・土曜日のお楽しみでは、4回(前年は1回)の開催で延べ80名の参加があった。</p> <p>・星の観察会、巣箱作り、お弁当クッキング、県の施設見学は、好評なので継続したい。・土曜日のお楽しみ事業は、開催回数を増やしたい。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		5	子供の体験活動事業	溝口 公民館	<p>夏休みを中心に、学校、地域と連携し、子どもたちを対象に自然体験、創作活動等多様な学習機会を提供することができた。事業の企画にあたっては、町内の関係機関と調整し、保護者への案内も一つの冊子で行い、好評を得ている。</p>	<p>・学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験、郷土学習、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図り、強くたくましく生きる力を持った子どもの育成を図った。高齢者教室の学園生や公民館各教室・同好会、また地域の方々に協力していただき、世代間交流の推進を一層促進した。英会話教室(年度途中から同好会へ移行)の開催、夏季休業中に9事業、冬季休業中に2事業、中学生ボランティアの協力を呼びかけ、土曜事業として親子料理教室(アンケート実施)を3事業開催し、前年を大きく上回る延べ255名(前年133名)の親子・子供たちが有意義なひと時を過ごした。</p> <p>・事業により参加者の増減があった。子どもたちの興味関心を喚起する工夫も大切にしながら、是非子ども達に体験してもらいたい日本の伝統的文化など(お茶・生け花・書道・料理等)は継続発展させて取り組んでいきたい。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
				二部 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・公民館教室の連携をもとに、自然体験、農業体験・歴史体験・ものづくり活動などの体験を通して、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。特に子供たちを抱えている団体「森のようちえん」「だんたんプロジェクト」や二部地域で活動している組織「つくしの会」「二部梁山泊」「畑池そば生産グループ」との協働による事業を実施することができた。 実施回数:16回 延べ参加人員:567名 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
			日光 公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・二部地区活性化推進機構と連携できる事業取組みをしていきたい。 ・春の山菜観賞、山菜試食会、絵画教室、ふれあい参観日、正月の作品作り、しめ縄作り等日光小とのふれあい活動等9回。 ・世代間ふれあいセミナー:学校統合により27年度が日光小最後の活動となった。 		○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
		6	子供の体験活動事業	総務 学事	各学校で独自の取組みを行っているほか、学校支援地域本部事業と連携し、地域の協力を得ながら、体験活動を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 主な活動 ○作物・米・花の栽培 ○職場体験 ○地域の地理・生活文化等の学習 ○スキー教室など 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		7	家庭教育支援事業	生涯 学習	家庭の教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、小学校の新入学保護者等を対象にした講演会、研修会を支援(岸本中、二部小、八郷小、岸本小、こしき保、あさひ保) ・家庭教育講演会の開催 9月26日、参加者70名 3月19日、参加者130名 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
						<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保育所・小中学校とその保護者との連携を図り、各年代ごとの課題を絞って取り組みを進める。 	

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(2) 保・小・中の滑らかな接続	① 一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の改善	8	伯耆町教育振興事業 ・保小中一貫教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区を単位として、保育所から中学校までの職員が情報交換を行う機会をつくとともに、小中学校においては、授業づくりの方向性を共有し、合同で授業研究会を開催することができた。 ・目指す人間像をより具体化した「姿」の共有と、それを実現するための具体的な方策が必要。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		9	伯耆町教育振興事業 ・一貫カリキュラム作成プロジェクトチーム	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチームのメンバーを核として、町内教職員の参画により、一貫カリキュラム「概要版」と伯耆1学習の共通単元計画を作成することができた。 ・一貫カリキュラム「概要版」の趣旨を活かした「詳細版」を製作すること。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		10	伯耆町教育振興事業 ・就学支援	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 就学支援部 ・保小中の交流活動の実施 ・子どもたちの交流の促進だけではなく、教職員も情報交換などで交流を深めることができた。 ・引き続き、教職員の交流や研修を行っていく。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	① 確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育	11	確かな学力定着促進事業	総務学事	町教育の振興を図るため、教員の教師力向上や学校運営開発等の研修を行う。また、各学校の授業改革のための研修と夏期学力補充教室、家庭教育講演会等を行い、児童生徒の学力定着と保護者への家庭教育の大切さに関する意識づけを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の校内研究に外部講師を招聘し、研究推進を図ることができた。また、学力補充教室に教職員以外の指導員を配置し、学力が十分定着していない児童・生徒の指導を行うことができた。 ・校内研究の内容を日常の授業に落とし込み、さらなる学力定着を図ること。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		12	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	総務学事	各学校における教材・教具・備品の整備を行うことで、多様化する教育に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校に必要な教材・教具・備品を整備した。日光小学校廃校に伴い、必要な備品等を各学校へ配備し、備品台帳の整理を行った。 ・引き続き、必要な教材・備品等を整備し、多様化する教育に対応していく。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		13	外国青年招致事業	総務学事	岸本中学校と溝口中学校にALTを1名づつ配置し、生徒の英語能力の向上に資する。	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校にALTを配置して英語活動を支援するとともに、中学校区の小学校にも定期的に派遣し、国際理解教育を支援。また、公民館の英会話教室で講師を行う等、地域における国際理解の啓発に寄与した。 引き続き、生徒の英語能力の向上のためALT配置を実施する。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		14	学校統合準備事業	総務学事	町内児童・生徒の少子化の進行に対し、学級の人数等について適正な規模が維持を目的とし、各小学校区の代表者と協議をして、統合の方向を明らかにする。	<ul style="list-style-type: none"> 溝口地区において溝口小・日光小2校での統合準備協議会により新小学校の円滑な開校に向けて協議を行った。 岸本地区の学校統合について、H28に住民検討会を立ち上げ再検討を行う。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		15	運動部活動推進事業	総務学事	地域の専門的指導者を部活動指導に派遣し、部活動の活発化、生徒の技能向上、地域との連携の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 運動部活動推進事業(国事業)を活用し、溝口中学校で軟式野球部、柔道部の外部指導者派遣を受け、専門的指導等を実施した。 引き続き、部活動の活性化、生徒の技能向上のため部活動指導者の派遣を実施する。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		16	特別非常勤講師配置事業	総務学事	地域の専門的知識を有する者を県教委に内申し、特別非常勤講師として配置してもらい総合的な学習の一部やクラブ活動を担当させることで、学校教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 岸本小学校4名、八郷小学校2名、二部小学校3名、溝口小学校3名の推薦を受けて配置し、教育内容の充実を図ることができた。 県教委の予算の制限があるため、学校が要望する時間数には届いていない実態がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		17	伯耆町教育振興会事業 ・人権教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 伯耆町転入職員研修会、伯耆町人権教育研究大会(溝口小学校)において、教職員等への研修を行うことができた。 「文化センター」、「地区進出学習会」の学校での指導について協議し、基本線をうちだすことができた。 地区進出学習会のあり方についての検討が必要。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		18	青雲寮管理運営事業	生涯学習	溝口中学校生徒の冬期間の寮として使用していた青雲寮を、町内社会体育団体の合宿や通学合宿に利用するとともに、適切な施設の維持管理及び運用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内スポーツ団体及びPTAの合宿、通学合宿事業の場として活用した。 ・玄関ドアの鍵の修繕を実施。 ・調理設備、トイレなど使い勝手の悪いものもあるが、利用頻度等を考慮しながら施設整備について検討する必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		19	伯耆町教育振興会事業 ・学校保健	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各保育所、各学校において、食育の日の朝食調べ、人気の給食メニューレシピ等、食育の啓発を行うことができた。 ・今年度の事業を継続し、食育への意識のさらなる定着を図ること。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		20	栄養教諭による食指導	給食センター	栄養教諭1名、要望による加配職員1名の計2名で栄養指導を行い、学校給食を通じて食育の推進を図った。	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスのとれた給食を食べることにより、食事の楽しさ、食事の基礎知識の学習など、児童生徒が食事の大切さを学んだ。児童生徒に地元食材を食べてもらうことで、食育の推進を図った。また、各学校と連携を図り、生産者やセンター職員と児童との交流給食を実施し、生産者との交流、食材に対する感謝の気持ちが育まれた。食育の日や給食週間を中心に交流給食を年13回実施。 ・加配職員がなくなった場合の対応(人手不足)の検討が必要。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		21	学校給食施設管理運営事業	給食センター	安心・安全な学校給食を提供するため、給食センターの適切な管理を行った。また、老朽化・損傷した備品について、更新を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種細菌等検査の実施 ・清掃・衛生の徹底 など ・給食用コンテナ、二重保温食缶など老朽備品の更新 ・外部への排気の油臭等を減少させるため、換気経路に中和消臭器を設置 ・年間給食配数 181,049食 ・食物アレルギーの児童生徒への対応方法等については、引き続き調査研究を行う。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
② 発達段階に 応じた、きめ 細やかな指 導体制の充 実		22	学校給食費補助事業	給食センター	給食費の保護者負担を軽減するため、1食につき50円の補助を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者負担の軽減と安定的な給食の供給が図られた。補助額7,505,650円 ・平成26年度からの消費税増税及び物価上昇等に伴い、補助金を更に見直し、1食につき30円から50円に増額し、一層の保護者負担の軽減を図っている。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		23	食材供給連絡協議会との連携	給食センター	伯耆町内の農業生産者で構成する組織である食材供給協議会と連携しながら、伯耆町産の食材使用に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会との調整会議を月1回開催 ・伯耆町産使用率54.1%(前年度51.2%) ・町内産のみで賄えた主な食材 米、干し椎茸、りんご、メロン、わらび ・町内産食材の使用率の一層の向上 ・協議会会員の高齢化等に伴い、会員数が徐々に減少。町内生産者の拡大を図ることが必要。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		24	スクールソーシャルワーカー活用事業	総務学事	いじめや不登校など児童生徒の問題行動を環境面から解決するために、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係者・関係機関が協力して、児童生徒の抱える課題解決にチームで取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士資格者2名と教員OB1名をSSWとして配置。学校・関係機関と連携・情報共有し、問題を抱える児童生徒の支援を行った。 ・対象事案 小学生38名、中学生33名 ・ケース会議 教職員：24回、関係機関含む：24回 ・引き続き、SSWとSC、教職員、関係機関等との連携を密にして児童生徒の抱える課題解決にチームで取り組む。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		25	特別支援教育支援員配置事業	総務学事	特別支援学級に在籍する児童生徒の内、日常的に介護等が必要な児童生徒と通常学級に在籍するLD、ADHD、アスペルガー症候群等の児童生徒に対する学習支援、安全確保等を行うことで担任と児童生徒が安心して授業に取り組める環境を整備し、教育効果を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・岸本小学校(3名)、八郷小学校(2名)、溝口小学校(2名)、岸本中学校(1名)、溝口中学校(2名)に配置した。 ・配慮を要する児童生徒の増加に対応するための支援員の確保 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		26	教育支援センター運営事業	総務学事	溝口体育館内に設置した教育支援センターにおいて、不登校等の児童生徒への学習支援や生活指導を行った。また、いじめや友人関係などの悩みを抱える児童生徒・保護者の相談活動を行い、不登校・問題行動等の未然防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・通級生徒 中学生3名(内さくらんぼ2名)、小学生1名 ・学習指導員1名, 相談員3名配置 ・定例会を開催し情報共有を図った。 ・該当生徒中学校、保護者との連携を図った。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		27	少人数学級実施事業	総務学事	小中全学年30人学級の実施によりきめ細やかな教育を推進する。 また、日光小学校については、学校統合の前年であるため、教員の加配により複式学級を一部解消。	<ul style="list-style-type: none"> ・岸本中学校 1年(2→3学級)、2年(2→3学級)、3年(2→3学級) ・溝口中学校 3年(1→2学級) ・岸本小学校 5年(1→2学級) ・日光小学校 2・3年(複式解消) 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		28	就学援助事業(要保護、準要保護)	総務学事	生活保護、生活保護に準ずる者、非課税・母子家庭等を対象とし、金銭的に生活が苦しい保護者に対し教育費(学用品、給食費)を援助することで、保護者の教育を受けさせる義務の遂行を図る。	<p>平成27年度認定: 90名(52世帯) ※昨年に引き続き、母子家庭が半数以上を占める(35/52)。 ※区域外就学者の申請は、町外からの越境1世帯1名。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、金銭的に生活が苦しい保護者に対し、教育費(学用品、給食費)を援助する。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		29	就学援助事業(特別支援教育就学奨励金)	総務学事	特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援することで金銭的負担を軽減し、義務教育の遂行を支援する。	<p>平成27年度認定: 14名(14世帯) ※世帯の収入・世帯員によりⅠ～Ⅲ区分に分ける。なお、区分により支給対象経費が異なる。 ※支給額は、要保護・準要保護の2分の1程度。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援し、金銭的負担を軽減する。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		30	中学校区の児童生徒を語る会	総務学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。	<p>○中学校区児童生徒を語る会 小中学校担当教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、指導主事等が参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸本中学校区 各学期2回 ・溝口中学校区 各学期1回 <p>・引き続き、中学校区に語る会を実施し、関係者の情報交換といじめ問題の未然防止のための協議を行っていく。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		31	就学支援検討会	総務学事	小中学校就学について、支援が必要と考えられる子どもに対して、関係機関が連携し、環境を整備することによって就学後の学校不適應などの2次障害を防止する。	<p>①5歳児健診での観察及び相談 ②関係機関による連絡会議の実施 ③対象児の観察会 ④個別の就学支援検討会の実施 ※28件の事案について対応・支援</p> <p>・「個別の支援計画」の活用充実を図ること。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(4) 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備	① 教員の資質向上と一人一人の子供に教員が向き合うための環境の整備	32	学校評価研修会	総務学事	学校運営の一層の充実・改善を図るため、学校管理職等の教職員、学校関係者評価委員、学校運営協議会委員を対象に研修を実施する。	<p>学校評価の原点に戻り、対象を学校管理職に限り下記の研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校管理職研修会 6月 溝口公民館 名城大学 木岡一明 教授 <p>・研修内容が学校評価システムに反映されているかどうかの検証が必要。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		33	学校図書整備及び図書館司書配置	総務学事	各小中学校に司書教諭補助職員を配置し、学校図書館を利用した学習の充実や子供たちの読書活動推進に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館職員として臨時的任用職員を配置し、学校図書館運営・管理、児童の調べ学習支援などを行った。 <p>・司書教諭と学校図書館職員の共通理解の場を定期的に設けること。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		34	教職員研修会 (全教職員対象)	総務学事	学校教育の諸課題に対応できるよう教職員の資質向上を図るため、本町独自の研修を実施する。	<p>教職員の悉皆研修として実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町教育振興会研究大会 7月 岸本公民館 大阪府立大学 山野則子 教授 ・教師力向上研修会 1月 溝口公民館 兵庫教育大学 安藤福光 教授 <p>・1月悉皆研修については、業務改善の観点から実施を検討。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		35	学校要請訪問、学校随時訪問	総務学事	各学校の校内授業研究会での指導助言や授業参観・授業評価及び学校長への指導助言を目的として学校訪問を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研究会における指導助言 ・学校行事や学校公開日における訪問と管理職等との意見交換 <p>・校内授業研究会については、他の日程と重複することが多いため、いかに要請に応えるかが課題。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		36	伯耆町教育振興会事業 ・生徒指導	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<p>生活指導部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中の申し合わせ事項について共通理解を図り、LINE等のトラブルについての研修を行うことができた。 ・「SSW活用ガイドブック」を活用した研修会を実施した。 <p>・異動教員への「SSW活用ガイドブック」の配布。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		37	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	総務学事	各学校の運営状況及び授業実践の把握を行うため、各種訪問を行い、各校の課題改善に努める。	<ol style="list-style-type: none"> ①学校計画訪問 各小中学校1回 ②行事訪問 運動会、学習発表会、入学式、卒業式等参加・参列 ③講師訪問・本務者訪問 <p>・教育委員の意見を集約して、学校経営に反映させるためのシステムづくり。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
② 安全安心で 質の高い教育を 支える教育環境の 整備		38	小学校施設修繕事業	総務学事	小学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<p>損傷・老朽化した施設の修繕を行った。</p> <p>【主な施設修繕】 岸本小：屋外時計取替修繕、テニスコート修繕 溝口小：トイレ壁タイル修繕 日光小：体育館雨漏り修繕</p> <p>・引き続き、損傷・老朽化した施設の修繕を行う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		39	中学校施設修繕事業	総務学事	中学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<p>・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。</p> <p>【主な施設修繕】 溝口中：テニスコート修繕、漏水修繕 岸本中：体育館照明修繕</p> <p>・引き続き、損傷・老朽化した施設の修繕を行う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		40	小学校施設耐震化等事業	総務学事	二部小学校、八郷小学校の校舎等改修工事の実施設計を行う。	<p>・二部小の校舎耐震補強等改修工事の実施設計完了 ・八郷小の空調設備改修工事の実施設計完了</p> <p>・H28年度工事完了予定。</p>	◎	新規事業目標達成90%以上
		41	学校安全体制整備推進事業	総務学事	小学校において、実践的な事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためにスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。	<p>・中学校区ごとにスクールガードリーダーを配置。定期的に学校・通学路等の巡回・指導等を実施した。交通安全プログラムを策定し、それに基づき通学路の合同点検を実施した。</p> <p>・引き続き、スクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		42	伯耆町教育振興会事業 ・学校事務	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<p>・補助教材の採択から会計処理、評価までの学校徴収金システムの整備をし、次年度から通常業務として実施できるようにした。</p> <p>・町の共同実施フォルダを活用して情報共有、情報交換ができるようにすること。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(1) 生涯を通じて 学ぶための 環境の整備	① 生涯学習の 推進	43	地区公民館との連携	公民館	地区公民館との連携を強化するため、公民館定例会(各館長と生涯学習室職員が参加)を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習室と各公民館で定例会を開催し、行事内容の打合せや業務内容などの相互調整により、業務の連携を図った。(毎月1回各公民館持ち回りで開催) ・円滑な業務連携を行うことができた。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		44	生涯学習まちづくり推進事業	公民館	生涯学習に関する各種学習情報や発表の場を提供することで、生涯学習への参加を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・CATV、町広報等を活用しての情報提供、学習相談 ・ほうき生涯学習ニュースの発行(毎月) ・伯耆町HPで生涯学習に関する催し物、情報提供 ・生涯学習ニュースがわかりにくいという指摘を住民からいただいたため、表示方法について検討を行い、公民館事業と同好会事業を見分けやすくすることができた。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		45	図書館管理事業	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館関係部門の連携を強化するため、図書定例会(図書館長と図書館職員、生涯学習室職員、二部・日光公民館長、文化センター職員が参加)を開催する。 ・町民の図書館への声や意見を集約し、町民に役立つ図書館運営をするために、図書館条例第4条等の改正を経て、図書館協議会を立ち上げた。委員6名を、町内の各地区、幅広い年代の代表として選出、委嘱(教育委員会)し、スタートした。(視察研修を含めて年4回開催)また、利用者アンケートを実施し、町民の図書館への期待を集約した。職員で検討し、図書館運営や図書館づくりに生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習室と図書館、公民館図書室、文化センター等で定例会を開催し、行事内容や業務内容の相互調整により業務の円滑化と広報活動の充実を図った。(月1回) 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
						<ul style="list-style-type: none"> ・更なる公民館同士の連携を図る必要がある。 		
						<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも住民のご意見に耳を傾けながら、より伝わる広報活動に心掛ける必要がある。 		
						<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動は、防災無線やホームページ、CATVに働きかけて、新規事業について取り上げてもらうようにした。 		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		46	図書館振興事業	図書館	<p>利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、親しみやすく、かつ開放的な施設として、また町づくり、人づくりに役立つ施設として、新規事業を加えながら、各年代への読書推進に努める。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けて各種事業を行う。</p>	<p>(1)子育て支援事業 ・ブックスタート事業(年12回) ・ブックセカンド事業・乳幼児出前お話し会・就学前児童お話し会、保育施設への本の配送 (2)学校支援事業 ・団体貸出し及び本の配送 ・土曜事業(工作教室など) ・お話し会・朝読書読み聞かせ ・職場体験受入れ (3)読書推進事業 ・こどもの読書週間事業 ・読書グランプリ (4)高齢者支援事業 ・出前図書館(年5回) ・あたまイキイキ音読教室(年20回) ・リレー講演会(生活習慣病から学ぶ) (5)広報事業 ・図書つうしんの発行 ・HP掲載 (6)研修事業 ・鳥取県図書館大会開催の協力 ・県立図書館視察、県内優秀学校図書館視察 ・障害者サービスの在り方についての講座 【溝口図書館】 ・布絵本講座およびちくちく教室の開催(4回) ・大江賢次生誕110年企画展 【岸本図書館】 ・開館3周年記念展示 ・おはなしのもりスペシャル</p> <p>・大江賢次生誕110年企画展について、米子市図書館に寄贈資料が保存されているので、連携して充実を図る必要がある。毎年町の偉人展を行うので、工夫をしていく必要がある。 ・読書グランプリや布絵本教室などの新企画事業について、広報活動を粘り強く推進し、事業を継続することにより、図書館の来館増幅を図りたい。 ・ボランティアを増やすために、次年度はシニアに焦点を当てたボランティア養成講座を開催し、図書館として責任を持ったボランティアの養成を図る。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		47	鬼の館運営事業	生涯学習	本町の文化拠点として、文化に直接触れる機会の提供、各種団体の研修や町内サークル等の発表の場として文化団体の支援・利用促進及び施設の維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 各種保守点検を実施し、維持管理に努めた。 修繕工事として、電動式移動観覧席の修繕、屋根・外壁の修繕工事を実施した。 自衛消防訓練を実施した。(11月、3月) ホール、ホワイエの吊り天井の点検を行い、安全確認ができた。 音響照明を主要設備とその他設備に分け、主要設備につき長期継続契約を締結することができた。 住民の自主企画として、くろぼくコンサートを定期的に実施することができた。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		48	青年の家管理事業	生涯学習	青年の家を維持・管理及び壁紙の張り替え等を行い、社会教育の場として提供することにより、社会教育の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 公民館同好会、放課後児童クラブの活動の場を提供した。 施設の老朽化が進んでいるため、施設の活用状況を考え、施設改修等を検討する必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		49	社会教育主事等の育成	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 資質向上のため各種研修会に参加した。 人事異動により社会教育主事資格のない者が社会教育の担当となったため、資格取得の必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		50	高齢者教室交流事業	公民館	各公民館の高齢者教室合同研修会の開催により、日頃の学習成果の発表を行なうと共に、相互の親睦と交流を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 伯耆町内の4つの公民館合同の研修会を開催し、講演会、発表会、交流会を開催することができた。 開催日 7月3日(金)9:45~15:00 会場 鬼の館 参加者数 166人 4つの公民館の高齢者教室学級制の機構による文集「だいせん」を作成・配布した。 作成部数 330部 参加される高齢者の年齢が上昇しており、発表会への出演団体が減っているため、内容の工夫が必要。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		51	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)	岸本 公民館 溝口 公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。 また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。	<p>・松栄学級(高齢者学級、受講生64名)は、11回の開催で延べ485名の出席があった。小学校や他公民館の高齢者教室との交流も行った。・成人講座は10回の開催で延べ141名の参加があった。・家庭教育支援講座では「冬の星空☆観察会」を開催し、54名の親子がコミュニケーションを図った。・新たに成人男性だけの講座「楽しみ隊」を開設し、2回の開催で参加者延べ25名の参加があった。</p> <p>・松栄学級は、新規登録者があるが、受講生の数は減少している。・各事業のアンケートでは、楽しい講座や町外研修を望む意見が多い。</p> <p>・貴寿美学園(高齢者教室) 町内外研修 計14回開催 延べ511名(昨年495名)参加。高齢者へ他機関と連携して様々な分野から学びの場を提供し、生きがいや健康づくりと合わせ、他の公民館との交流促進を図った。また、未就学児対象の講座や親子で活動できる教室(スクラップブック教室)にも取り組み好評を得た。また、布絵本づくり体験教室を開催し参加者アンケートでの振り返りは満足度が高い。</p> <p>・学園生の高齢化に伴い、会員は減少傾向にある。諸事情にて退会された方へも情報周知・広報を行ったため前年より一名増(77名登録)ではあるが、引き続き継続して呼びかけを行っていききたい。学園生や住民のニーズを捉えながら、学びの多い研修・講座を企画していききたい。</p>	<p>○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p> <p>○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p>

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
				二部 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・多々楽学園(高齢者教室) 町内外研修 計9回開催 延べ270名参加。高齢者の学びの場を提供し、生きがいや健康づくりを図ることができた。 ・女性学級 12回 延べ153名参加。成人女性を対象とした講座等を開催し生涯学習の場を提供し、会員相互の親睦を図ることができた。また、12回の内4回は手づくり教室を開催し、森のようちえんの保護者との交流を図ることができた。 ・子ども体験活動事業への参加を含め、小学生等との世代をこえた交流機会を引き続き図る。 ・多々楽学園生H26:45名 H27:50名 H28:49名 女性学級生H26:54名 H27:57名 H28:45名と平成27年度は増加したものの、平成28年度はすでに減少しており、継続した会員募集を図る必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・日光学園:10回開催 延べ282名 学園生44名 ・ふるさと学級:先進地視察2ヶ所、正月の作品作り、しめ縄作り、料理教室2回 計6回開催 延べ65名 ・会員の誘い掛けが功を奏し学園生が増加した。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				52		社会教育委員 及び図書館協 議会委員	生涯 学習	社会教育並びに図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、社会教育施策等について、事業計画・事業実施結果等の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。
② 生涯スポーツ の推進		53	スポーツ推進 審議会事業	総合ス ポーツ 公園	教育委員会のスポーツに関する諮問及び町のスポーツ推進に関する事項について研究協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度における計画の進捗状況報告及び次年度に向けての計画実施(案)について協議するため、審議会を1回開催した。 ・計画の進行管理及び中間年の計画見直し ・施策実施に向けての検討及び関係団体との連携強化 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		54	スポーツ推進委員事業	総合スポーツ公園	委員を委嘱し、町内のスポーツ振興・普及を図る ・町内体育行事の運営、協力 ・生涯スポーツの指導、普及啓発 ・総合型地域スポーツクラブの運営	<ul style="list-style-type: none"> ・郡、県、中国研修会等に参加し指導委員としてのスキルアップが図られた。(年4回) ・町の体育行事等運営協力のほか、「ほうきスマイリースポーツクラブ」事業の企画・運営を行った。 ・ラジオ体操指導者講習会に参加した。(6名) ・研修で学んだ内容を実践できる企画の検討 ・スポーツ推進委員の認知度アップ対策 ・夏休中に児童が行う早朝のラジオ体操に出向いて指導する。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		55	スマイリースポーツクラブ支援	総合スポーツ公園	スポーツを通じて地域住民の健康増進・技術体力の向上を目的とする総合型スポーツクラブであるスマイリースポーツクラブの運営に必要な経費について補助金を交付し、活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブの独自事業及び受託事業として各種教室8事業、大会等5事業及び町内保育園やPTAなどへの指導者派遣を50回以上実施し、住民の体力向上やレクリエーションの普及に寄与した。また、ジュニアクラブとの連携により、多くの子どもたちに専門競技以外のスポーツ等を実施する機会を提供することができた。 ・クラブ運営について、H28年4月から法人化する。 ・会員増加に向けての企画立案。 ・町民への認知度を向上させるための広報活動。 ・指導者の確保及び指導者研修の充実 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		56	オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆補助事業	総合スポーツ公園	全国の小学生を対象にトライアスロン競技を開催するための事業費の一部を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年8月23日に21回大会として開催 大会エントリー者数は285名で昨年より39名増であった。初の試みで、Dクラス(中学生)を増設し、大きな事故やトラブルはなかったが、バイクコースにてブレーキの操作ミスによる転倒があった。 ・参加者増に向けての取り組み強化。 ・事故が起きないように充分な運営体制を構築する。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		57	伯耆町駅伝	総合スポーツ公園	旧溝口町から実施されている1チーム5名による駅伝競走大会である。地元の絶大な協力をいただきながら、役員や参加者が一体となって運営されている地域に密着した大会として開催。	<ul style="list-style-type: none"> ・予定どおり開催し、日光地区の協力による汁の振る舞いも好評だった。 ・開催場所の変更に向けた検討 ・タイム計測のミスにより区間賞がでなかった。(一組目)タイム計測の再徹底。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		58	町内体育施設管理運営事業	総合スポーツ公園	町内の社会体育施設である体育館・武道館・町民グラウンド・総合スポーツ公園・すこやか村や溝口中学校夜間グラウンド施設等の管理運営を行った。 また、管理運営に必要な備品・機材を整備した。	<p>各施設利用者数(前年比較)中学校部活利用は除く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設(町体育館・町武道館・町グラウンド、すこやか村) 31,303人(△1,518) ・総合スポーツ公園 31,308人(△5,496) <p>社会体育施設は若干減少、スポーツ公園施設はB&G体育館以外の施設は昨年に比べ利用者数が減少した。 (施設管理機材購入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園管理乗用芝刈り機 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		59	伯耆町体育協会補助事業	総合スポーツ公園	所属各部の運営、町スポーツ大会の開催等、スポーツ活動の中心的団体の支援 ・専門部運営補助(8団体) ・町民対象のスポーツ大会開催(8事業) ・スポーツ優秀賞・功労賞の表彰 ・郡体、県民スポレク等の大会参加	<p>各大会とも大きな事故もなく予定通りに開催することができた。町民スポーツ活動の中心組織として、年間を通してスポーツ活動、大会運営に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民スポレク等各種競技大会へ参加 ・体協組織や運営方法についての検討協議を実施 ・大会運営、体育表彰の主催者を町に変更するための協議検討を実施 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
						ほうきスマイリースポーツクラブへの統合に向けた組織改編を行っていく。		

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		60	体育施設改修事業	総合スポーツ公園	快適な環境で運動できるよう体育施設の修繕等を行った。	<p>(主な施設修繕)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園遊具の老朽化に伴う修繕 ・溝口体育館高圧引き込みケーブル改修工事 ・溝口体育館玄関ドア修繕 ・駐車場区画線補修工事 <p>(施設備品購入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸本グランドベンチ ・柔道用タイマー <p>(業務委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生等更新作業委託 ・岸本体育館大規模改修工事設計業務委託 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		61	各種スポーツ団体補助事業	総合スポーツ公園	<p>伯耆町ゲートボール協会並びに伯耆町グラウンドゴルフ協会活動経費の一部を補助する。</p> <p>※町大会運営や郡、県大会等さまざま大会に参加されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供することができた。 		
					<ul style="list-style-type: none"> ・今後も生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供できるよう、継続的サポートが必要。補助対象経費の算定基準において、団体別に差異が生じているので基準の統一化を図る。 			

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		62	地区運動会・ その他イベント 開催事業	岸本 公民館	町民総スポーツの中心的な事業として運動会を開催し、子どもから高齢者までの参加により地域の連帯感、親睦を深めた。実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。	<p>・町民運動会岸本地区大会 10月4日に開催 岸本地区町民のスポーツの中心的事業として開催し、健康増進と親睦、地域の連帯感を深める交流活動に寄与できた。今年度は、開始時刻の変更、競技方法の変更など開催要項の一部を変更し、スムーズな大会運営ができた。</p> <p>・アンケートにより、競技役員から出された課題(水入れ競争の見直し等)を検討する。</p>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				溝口 公民館		<p>・町民運動会溝口地区大会 10月11日実施。溝口地区の町民のスポーツの中心的事業として開催し、健康増進と親睦、地域の連帯感を深める交流活動に寄与できた。実行委員会を組織し、中学生ボランティアの協力を呼びかけた。前年度の課題を実行委員会にて協議し、課題解消・競技内容等の改善に努めた。</p> <p>・今後も協議の見直しを進めていくとともに、子どもから高齢者までみんなが楽しめ、親睦が図れる運動会にしていく必要がある。</p>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				二部 公民館		<p>・町民運動会二部地区大会 10月4日実施 二部地区の町民のスポーツの中心的事業として開催し、競技内容も工夫し、健康増進と親睦、地域の連帯感を深める活動に寄与することができた。</p> <p>・二部地区のスポーツ・健康事業として、二部地区活性化推進機構主催による健康ウォーキング・グランドゴルフ大会、カローリング大会を開催し、健康増進・交流に寄与することができた。</p> <p>・平成28年度から運動会については、開催時間や競技種目をさらに見直し、半日開催を実施する。</p>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・伯耆町駅伝：豚汁の振る舞いに感謝された。参加賞リングに変えて白ネギを配り好評だった。 ・町民運動会日光地区大会：10月19日開催 天気に恵まれ和気藹々けが人もなく盛会であった。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
2-(2) 町全体で取り組む青少年の健全育成	①町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備	63	青少年育成伯耆町民会議運営支援	生涯学習	地域全体で青少年の健全育成の推進を図ることを目的に、町民会議を支援し各種事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会(2回)の開催 ・青少年育成伯耆町民大会の開催(1月31日、参加者120人) ・研修会開催及び派遣 ・町民あいさつ運動の実施(4回) ・高校生マナーアップさわやか運動への参加(4回) ・夏休み町内巡視の実施(6回) ・少年を守る店啓発事業(51店舗) ・「家庭の日」標語の募集(応募数101点) ・家庭教育講演会、研修会の開催 ・通学合宿(10月、5年生参加者20人) ・高校生ユースセミナーでのボランティア、交流事業等 ・専門部会を3つ設置し、部会ごとに事業の企画運営を行うよう勤めることができた。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に専門部会の活動を行う機運の醸成が必要。 ・公募委員の募集を検討する必要がある。 		
		64	成人式	生涯学習	明日の伯耆町を担う若者たちが、社会人として新たなスタートを切る節目に、成人を祝福し激励する記念式典を開催する。	<p>と き：8月15日/新成人出席者84人 出席率77.1%</p> <p>と ころ：鬼の館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念品贈呈・記念講演・記念撮影 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> ・新成人対象にふさわしい講師の選定が必要。 ・成人式対象者の漏れを減らすため、呼びかけの工夫が必要。 		

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		65	通学合宿事業	生涯学習	「青雲寮」で子ども達が共同生活を行いながら通学することにより、子ども達の協調性や社会性を高めるとともに、親への感謝の気持ちを養うよう努める。	と き: 10月4日(日)～10日(土) と ころ: 青雲寮 対象学年: 5年生 参加者数: 20人 ・回数を2回から1回に減らし、町民会議委員、町PTA、参加者の保護者等に呼びかけを行ったが、やはりスタッフの確保が難しかった。 ・アンケート結果からも事業効果は期待できる事業ではあるが、継続のためにはスタッフの確保が一番の課題である。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		66	高校生ユースセミナー	生涯学習	高校生が自ら事業を企画することで自主性、責任感を育て、他校の高校生と交流し、仲間づくりを行い、地域で一緒に活躍する高校生の育成を図る。	町内の各種イベントへのボランティア参加や高校生同士の交流会を開催した。 ・伯耆町・読谷村交流事業 夏6人、冬3人 ・岸本豊年盆踊り花火大会 5人 ・岸本地区町民運動会 3人 ・岸本きないや祭 6人 ・島根県青年の家での交流 5人 ・高校生交流会 6人 ・溝口公民館まつり4人 ・自主的に計画立案し、活動できるよう促していく必要がある。 ・活動への参加者の確保について、工夫が必要。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		67	読谷村教育交流	生涯学習	沖縄県読谷村と伯耆町の子どもとの交流を通じて、それぞれの伝統文化に触れるとともに、子どもの健全育成に寄与する。	夏: 7月31日～8月3日 沖縄県読谷村を訪問し、様々な体験・交流活動を行った。伯耆町参加者数 小10人、高6人 冬: 2月12日～14日 伯耆町でスキー等体験・交流活動を行った。伯耆町参加者数 小10人、高3人 他 ・相互交流を行ったことで、子どもだけでなく保護者同士の交流につながった。 ・隔年開催のため、交流のリズムがとりにくく、ノウハウの継承も困難な面がある。 ・ジュニアリーダーの高校生の確保が課題。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(3) 人権尊重の まちづくりの 推進	① 人権教育・人 権啓発の推 進	68	人権教育推進 事業	人権 政策	人権教育推進を目的に、人権教育推進員を 配置し、人権に関する諸問題を学び・理解し ていただくための各種事業を行う。	<p>人権問題の学習啓発事業の企画運営及び学校等の要請 に基づき、各種学習会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりセミナー(9回参加者314人) ・各種研修会での講演(3回参加者85人) ・各種研修会・大会への派遣(5か所参加者9人) <p>・アンケートでいただいた意見を反映させ、新たな人権課題 へもアプローチが必要。</p>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
	① 人権教育・人 権啓発の推 進	69	人権教育・啓 発推進協議会 補助金	人権 政策	伯耆町人権教育・啓発推進協議会の運営・ 活動を支援するとともに、各種事業を開催 し、人権教育・啓発の推進を図る。	<p>(1)人権教育・啓発に関する調査研究及び実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種人権週間広報啓発活動 ・明るいまちづくり懇談会開催事業(43集落548人) ・明るいまちづくり懇談会事前研修会(3公民館181人) ・人権啓発標語の募集及び表彰(応募数758点) <p>(2)研修会及び講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和問題実践研究交流会(参加者159人) <p>(3)資料の刊行及び啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権カレンダーの作成・配布(町内全戸・企業) ・伯耆町人権だよりの作成・配布(町内全戸) <p>(4)関係機関団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究校の指定と授業研究会の開催 ・各種研修会・大会への派遣(6か所参加者39人) ・各種団体の活動支援 <p>(5)その他目的達成に必要と認めた事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「呼ぶ会」実行委員会の活動支援 <p>・人権・同和問題実践研究交流会への参加者が減少してい るため、内容の検討が必要。</p>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
			70	男女共同参画 推進事業	人権 政策	家庭並びに社会生活における活動等への 男女共同参画社会の実現に向け、男女共 同参画推進計画を基に、各種事業を実施す る。	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次男女共同参画推進計画を策定した。 ・男女共同参画研修会を開催した。(役場内職場研修、事業 所研修) <p>・第2次男女共同参画推進計画に基づき、各種指標の達成 に努める必要がある。(平成28年度から総務課事業)</p>	○

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		71	町営住宅修繕事業	人権政策	老朽化が進行する町営住宅の修繕を行ない、住環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急修繕(11件)及び一部リフォームを行うなど、町営住宅の適切な管理を行うとともに、住宅使用料の全額納付を推進した。 ・老朽化が進む一方のため、適切な管理を行うとともに速やかな修繕に努める必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		72	文化センター管理運営事業	文化センター	人権問題の解消と啓発に向けた事業の実施や地域住民の自立と、よりよい生活を図るため文化センターの核として活動に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地区進出学習会：小学生 45回 85名参加 中学生 24回 72名参加 ・相談事業：随時。 ・各種教室：6教室 延べ72回 639名参加。 ・ミニデイサービス事業：ゲーム、レクリエーション、創作活動、会食などを取り入れ、楽しめる憩いの場として定着した。地域活動への参加につながり新しい仲間が増えた。延べ18回 344人参加。 ・百円ランチ：12回 224人。 ・交流研修事業：町内外からの研修を受け入れて地区の歴史・体験・活動などを伝え、人権意識の高揚や差別解消に努めた。研修会8回 参加者335人。 ・その他児童館事業、講演会、センターだよりの発行等を実施し、人権教育推進や地域活性化に努めた。 ・男性の参加がさらに増えるような事業内容の検討が必要 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
2-(4) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の創造	① 文化財の保 存と活用	73	地域文化活動の支援	生涯学習	豊かでうるおいのある生活を創造するため、芸術文化の振興・育成を図り、町内芸術文化事業を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化活動の支援のため、伯耆町文化振興会の体制整備と、各種事業を実施した。 ・第11回伯耆町民音楽祭 8/30(日) 鬼の館 来場者260人 ・くろぼくコンサートの支援 自主運営団体の鬼の館ホワイエでのコンサートを支援した。 ・伯耆町の文化活動の拠点である鬼の館を、活用しやすくするための検討が必要。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		74	埋蔵文化財調査事業	生涯学習	開発に伴って事前に発掘調査を行い、埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事業者との調整を図る。	<p>福島地区砂防堰堤建設工事のため、福島城跡の埋蔵文化財の発掘調査を行った。 その結果、中近世墓、近世以前のタタ製鉄の排滓場・炉の作業面を検出した。近世以前のタタ製鉄跡は発見例が少なく極めて貴重な調査となった。</p> <p>・引き続きこの内容についての詳細な調査が必要。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		75	文化活動団体支援事業	生涯学習	町内の芸術文化活動を行う団体への支援を行ない、文化活動の振興に努める。	<p>・鬼面太鼓振興会・岸本風神太鼓振興会へ補助を行い、後継者育成、演奏技術の向上等活動を支援した。 ・町内文化活動団体の練習会場として、鬼の館を無償で貸し出した。</p> <p>・確実な事業計画の実施と、適正な支出を指導助言する必要がある。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		76	文化財保護事業	生涯学習	本町にある指定文化財等の維持管理及び地域の景観的な変遷を記録するための定点撮影を行う。 国指定文化財 1件 県指定文化財 1件 町指定文化財 12件	<p>・県委嘱の文化財保護指導員による巡視 ・文化財周辺の草刈り・除草等の維持管理 ・文化財説明看板等の設置 ・町内出土埋蔵文化財展の開催(観覧者118人) ・民具台帳の整備 ・矢田貝家の古文書等整理のプロジェクトを支援 ・中曾家の古文書等の調査 ・文化講演会(参加者50人) ※埋蔵文化財の発掘調査が大規模となり、見学会等の事業が実施できなかった。</p> <p>・文化財を活用した事業の実施に心掛ける。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
		77	文化振興会補助事業	生涯学習	町内の文化活動の活性化のため、伯耆町文化振興会を支援する。 会員数116人(平27年3月現在)	<p>文化振興会会則を改正し、役員構成を変更するとともに、活動を部会単位とし、新たに音楽部、歴史文化部を加え、住民自ら各種事業を企画運営する体制を整えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化講演会(参加者72人) ・視察研修(参加者17人) ・文化展(来場者160人) ・会報11号(全戸配布) <p>・会則改正により新たな構成となったため、各専門部の人員確保、事業内容の検討など、中身の充実を図る必要がある。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		78	写真美術館管理運営事業	美術館	美術館の運営を通じて、植田正治作品の紹介や地域の写真芸術・文化の振興に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真家 植田正治及びその作品について来館団体への説明を積極的に行い、作品や写真芸術への理解を深めるもらう取り組みができた。 ・年間説明団体 38団体 約1,000人 ・入館者は20,002人(対前年度△37.6%) (工事期間が4ヶ月あったため、入館者の大幅な減少が予想されたが、完成後の入館者については、例年を上回る結果となった。) ・企画展3回、TV全国放送2回、その他雑誌掲載 ・サイン計画を作成し、看板等を設置し入館者に対する誘導改善を行った。 <p>・今後も美術館についての説明を積極的に行い、来館者の満足度を高めるような取り組みを行う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		79	写真芸術・文化振興事業	美術館	写真芸術・文化の振興に資することを目的に、フォトコンテスト、ワークショップ、作品説明、フォトスクールを開催した。	<ul style="list-style-type: none"> ・財団の事業としてフォトコンテスト、ワークショップを行った。フォトスクールについても18講座 305名が参加した。町内小中学校に加えて、町内外の団体からの参加もあった。美術館職員の支援によりスムーズな運営となり、また、事業実施にあたって指導、助言を行った。 ・フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップとも参加者のニーズや運営の現状を把握するとともに、写真愛好者の底辺拡大のため宣伝活動を引き続き行っていく。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
		80	写真美術館改修事業	美術館	写真美術館建物の外壁の汚れの除去と防水工事発注にむけた調査を行い、修繕工事を次年度に実施出来るようにする。	<p>・開館から20年を経過した建物外観の改修と防水工事を実施した。</p> <p>・H27年8月末完了</p>	◎ 新規事業目標達成90%以上
		81	地区文化祭・まつり開催事業	岸本公民館	公民館を主たる会場として、文化祭・祭を実施し、公民館の同好会、保育園児から高齢者まで地域住民の生涯学習の成果発表の場を提供した。実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。	<p>・今年度、新たに実行委員会を組織し、名称(岸本公民館きないや祭)とテーマを新たに、11月21～22日に開催した。・新たに「けんちん汁」と「ぜんざい」の無料提供を行い好評だった。・一般保小中の作品展会場を町民体育館から岸小体育館に変更し、祭全体の来場者の利便性を図った。新たに作品展の入場者数をカウントし、21日が138人、22日が805人だった。・岸本公民館前で和太鼓の演奏とミニ四駆交流会があり、大勢の人でにぎわった。・中学生がボランティアとして、高校生が青空市の出店者として参加してくれた。・岸本公民館の関係者がボランティアとして大勢参加した。・新たにアロマ教室が体験コーナーを実施した。</p> <p>・土曜日の来場者が少ない。・天候に左右されるイベント(和太鼓等)の会場の検討が必要である。・公民館教室の発表や体験コーナーの開設を検討する。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				溝口公民館		<p>・溝口公民館祭 3月20、21日開催 実行委員会を組織し、住民参画による運営に務めた。運営面で、中学生ボランティアの協力があり、大変助かった。例年作品展示中心のまつりであったが、同好会や各教室の高齢化により展示作品も少なくなってきたため、今年は新たに発表の場を設けた。出演サークルが一丸となって発表へ取り組み、頑張りを多くの方へ賞賛してもらえる場となったことは良かった。(千人以上が来館)</p> <p>本年度は作品の有無にかかわらず、全部の同好会に実行委員会に入ってもらった。会場設営、撤去に実行委員に声掛けをした。</p> <p>・各種同好会や教室の減少傾向がある中、広く町民から作品を募集することにより、一層町民の公民館まつりという意識化を図り、公民館同好会が中心となり、地域を巻き込んで、自分たちのまつりという機運を高めていかないと、今後溝口公民館まつりの実施が難しくなっていくと危惧している。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
				二部 公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・第32回たたらまつりを2月27～29日開催 延べ764名来館。地区住民・公民館教室生の作品展示、農産物販売、特別展示「二部が生んだ芸術家」等を行い、交流・親睦を図った。 ・新たに地域組織からの出展・物販の企画もできた。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
			日光 公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・出品作品が減少傾向にあるが、従来の各種同好会や地域で活動している団体・組織とさらに連携し、一層の充実を図る。 		○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
					<ul style="list-style-type: none"> ふるさと祭り 3月12～13日開催 延べ349名 初日和楽衣箱の公演が好評であった。2日目もフォークギターに合わせ歌い会場が盛況だった。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
					<ul style="list-style-type: none"> ・各同好会、一般作品が華やかであった。 		

○報告書個別事業に対する有識者の意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長及びPTA会長、スポーツ審議委員、学校支援地域本部地域教育協議会委員に送付し、無記名で意見書を返送していただいたものを掲載しています。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
1	伯耆町教育振興会事業・地域教育	<ul style="list-style-type: none"> ・町教育振興において連携は大切であるが、現在の事業内容で実効性が上がるとは思えない。廃止してもよい部会ではないだろうか。 ・保育所のかかわりがもう少し必要。 ・放課後子ども教室のよりよいあり方について検討が必要だと感じる。 ・家庭学習がなぜ必要なのかという啓発を継続して発信することが大切。
2	家庭学習の手引き配布事業	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前から中3までの9年間の保存に疑問がある。入学前及び当該学年の進級時に該当する学年分を配布した方が効果的ではないかと思う。 ・現場での活用が必要。 ・新入生だけでなく、全学年の保護者へ毎年配布した方がいいのでは。(特に基本的な生活習慣が不足) ・資料の有効活用を図っていきたい。
3	学校運営協議会運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・知名度が低いのが課題。住民に認知される手立てが必要であると考えます。 ・学校運営協議会は設置して終了ではなく、そこからスタートだと思います。行政としてのさらなる支援をお願いします。 ・地域と学校が一体となり、地域の子どもを育てていくということで町全域に広げられ軌道に乗ってきていると思います。地域の人々の子ども達を見守る目の温かさを感じます。 ・平成30年の町内全小中学校のコミュニティスクール化に向けたネットワーク会議の設置と熟議は大いに評価できる。 ・教職員への周知徹底が必要。
4	学校支援地域本部事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携・協力において絶大な効果があり、コーディネーターの配置は必須である。各校の配置は継続・時間も増えるとよい。学校の要望に対応してもらっているが、地域からの要望に応じられるようになるとよいと思う。 ・学校支援コーディネーターと伯耆未来塾とのかかわりが曖昧であった。きちんと分担をして進めていっていただきたい。 ・学校の職員だけでは、地域ボランティアの確保等大変な面があり、各コーディネーターの方々に感謝しています。地域と学校をつなぐ要としての役割も果たしてもらえるので、今後も継続していただきたいと思います。 ・ボランティアさんの発掘が必要。 ・事業が拡大してきて、町民協働の姿が見られ、好ましい。 ・東北支援米作りについて、今年度は種まきから田植えを行った。子どもたちは「もっとしたい」と一生懸命だった。ほぼ達成。あと稲刈りを待つのみ。保護者ボランティアも協力的であった。 ・環境整備・学習支援等について、町の健康ポイント制度の導入をしてはどうか。(学校まわりの草取りなど。草刈り等はゆうあいパルの温泉カードの配布なども) ・コーディネーターの配置がうまく機能している。 ・「もっとこうあれば」という住民の声も吸い上げることが必要。 ・参加するものにとって、生きがいづくり、仲間づくり、話題づくりとして大変有効な活動だと思います。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
5	子供の体験活動事業(公民館)	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい時から色々な経験をする事は、子ども達の将来にとって大変役立つと思いますので、これからも続けていってほしいです。 ・各公民館が工夫した取り組みがなされていてよいと思います。子ども達も興味のあるものに参加ができるので楽しみにしています。 ・各公民館が工夫した取り組みがなされていてよいと思います。子ども達も興味のあるものに参加ができるので楽しみにしています。 ・各公民館が連携して、町内の子どもを育てる活動に力を入れておられる。より一層の取り組みをお願いしたい。各地域の公民館の個性を活かして。 ・「夏休みのお楽しみ」は大変良い企画です。参加者の実態を取りまとめ、来年度の計画に反映する仕組みが必要です。子どもたちが何に興味をもっているのか、何を学びたいのか知る必要があります。 ・多くの事業を実施していただき、すばらしいと思っています。課題を見つけて、それを自ら解決していくような学習があってもよいと思います。 ・公民館を拠点とした子どもたちの体験活動が年々充実してきている。
6	子供の体験活動事業(総務学事)	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい時から色々な経験をする事は、子ども達の将来にとって大変役立つと思いますので、これからも続けていってほしいです。 ・ラジオ体操に地域の人参加が少ない。
7	家庭教育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「3 学校運営協議会」関連のネットワーク会議と連携して、入学前の家庭教育の在り方について支援するとよいと思います。 ・あいさつをあまりしない。集合場所であいさつをしない。中学生のあいさつはすばらしい。くつ箱は、小中学校ともに美しい。 ・社会性を身につけてほしい。(特にあいさつ・返事)
8	伯耆町教育振興会事業・保小中一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区で研究テーマが統一できていることは大変有意義です。今後も同じ方向で進んでほしい。 ・本当に使えるものにしていくことが大切。 ・保⇄小、小⇄中学校での人事交流(少なくとも各学期ごと)等、一貫した教育方策の検討が必要。
9	伯耆町教育振興会事業・一貫カリキュラム作成プロジェクトチーム	<ul style="list-style-type: none"> ・「詳細版」作成後の研究の方向性について検討してください。 ・一層の進展を期待します。とりわけ接続部分の充実を。
10	伯耆町教育振興会事業・就学支援	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有することで、保小中が連携して支援ができる。 ・以前に比べ保と中の交流が出来にくくなった。(時間の問題)もっとしっかり計画的に保小中交流を行っていく必要がある。 ・義務教育下の就学支援のほか、高校・大学進学者への支援方策、奨学金の給付型支援、学力のほか多様な能力の保持者に対しての支援が必要では。
11	確かな学力定着促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・財政面での支援がとても充実していてよい。 ・校内研究の推進や児童生徒の学力補充に大いに役立っている。 ・教職員の資質向上、プロ意識の低さが地域への不信を招いている。
12	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校に整備される備品と、町全体または中学校区で整備されるとよい物を考え、共同使用できるとよいと思う。例えば、プールの掃除機など。 ・児童生徒の机・イスの整備を町内で年次計画を作成して進めてほしい。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
		・不足しているものがあれば補う必要がある。既存の施設・設備の活用状況を知りたい。有効活用されていない施設も見られる。
13	外国青年招致事業	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒にとって効果がある取組みであると思います。 ・中学校が中心になっているが、もっと教育委員会が中心になって面倒を見る必要がある。 ・外国青年の意欲があり、とても感心している。 ・小学校における英語の教科化に向けてALTの配置や活用方法の検討を図っていきたい。 ・次期、指導要領改訂も見据えて英語に親しむ児童を。伯耆町独自の取り組みをしてほしい。
14	学校統合準備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・当分の間、考えていない。 ・統合はやむを得ないと思う。 ・統合はその地区だけの問題ではない。
15	運動部活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校単位ではなく、町内の子どもの育成という視点で進めていただきたい。 ・専門員の教員の援助が必要。 ・指導者派遣型(出前型)のほか、スポーツ・文化部所属生徒をクラブ等に派遣する方策(個を大事にした活動)、学校内の活動だけでなく外部での活動を支援する方策、少子化等で部が成立しなくなる場合の対応などを検討しなくてはいけない。
16	特別非常勤講師配置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の実施において、さらに配置数や時間の増加が必要。 ・児童・生徒にとって効果がある取組みであると思います。 ・継続をお願いしたい。
17	伯耆町教育振興会事業・人権教育	
18	青雲寮管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・管理(草刈り等)を中学校が行うことが疑問。 ・老朽化してきており、付近に住宅も多く、活用しにくいと感じる。日光小の再利用として公民館だけではなく宿泊施設としても利用できるとよい。
19	伯耆町教育振興会事業・学校保健	
20	栄養教諭による食指導	<ul style="list-style-type: none"> ・加配職員の継続配置が重要。 ・栄養教諭による朝食メニューの提案、昼食メニューだけでなく、一日全体の栄養管理をしてみてもどうか。部活時なのでメニュー提案等。
21	学校給食施設管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食民営化の動きがあるようですが、できるだけ早い時期に情報を流すようにしてもらいたい。 ・食物アレルギーへの対応食について、いつまでに検討の第1次結果を出すのか、明記しておく必要があると思います。 ・各校の給食配膳室の空調等も見直し、より安心な食への対応をすすめてほしい。 ・給食センターの改修と食物アレルギーへの対応策について十分に検討していただきたい。
22	学校給食費補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・継続をお願いしたい。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
23	食材供給連絡協議会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な食材、地域産食材の使用にはコストがかかるかもしれませんが大切なことと思います。 ・今年は「牛乳がおいしい」とよく言っている。 ・伯耆町産使用率の目標を定め取り組んでみてはどうか。「例えば2年後70%とする」など。 ・町生産品を使用したレシピの提供及び普及をしてみてもは。(学校給食から家庭料理へ)
24	スクールソーシャルワーカー活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・他の市町村より非常に先にいっている。 ・とても大切な事業であるので、今後も継続・充実をお願いしたい。 ・HK30プランの推進に向けて、家庭教育支援チームの中核としてSSWを位置づけていきたい。
25	特別支援教育支援員配置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する児童生徒の増加に対応して増員されるべきである。 ・これからますます必要性が増すと考えられます。継続して行ってください。 ・配慮・支援を要する子どもが増えてきている。今後とも継続充実をお願いしたい。 ・人材の確保が課題。 ・就学前(保育所)で早期教育が必要。保育所への増員が必要。
26	教育支援センター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し、学校や保護者に承知していただく工夫を！
27	少人数学級実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・国の基準をこえて、少人数学級の実施がなされていることは、住民にとっても安心感がある。今後も実施を継続してほしい。 ・このまま継続して行ってください。 ・一人ひとりの発言を取り入れた授業がされていて、良いと思っている。 ・今後とも継続をお願いしたい。 ・どこまで少人数化していくのか。補充される教員のレベルは十分なのか。指導力のある職員がいないかぎり、バランスが取りづらくなる。
28	就学援助事業(要保護、準要保護)	<ul style="list-style-type: none"> ・就学援助を受けておられる家庭で、特別支援教育(特支学級入級)を受けるために、受診が必要なとき、その費用が出せなくて特別支援学級入級を断念しなくてはならなかったという事例が県内にあります。もし本町で、そのような家庭があったら子どもにとって最善な教育を保障する意味でも支援できる体制を作ってあるとよいです。
29	就学援助事業(特別支援教育就学奨励金)	
30	中学校区の児童生徒を語る会	<ul style="list-style-type: none"> ・岸中校区と溝中校区で実施回数をそろえる必要はないが、会合は少ない方がよい。学期に1回で十分ではないか。
31	就学支援検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別の支援計画」について他の市町村との連携をすすめ、情報の共有化を進めて行ってください。 ・就学前に相談できる機会を設けておられることは大切だと思います。その保護者と直接話し合うことで、よりよい方向性を考えていけるとと思います。 ・支援が必要な児童について情報の共有が必要。 ・滑らかな移行支援に大いに役立っている。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
32	学校評価研修会	・学校評価の結果が、学校教育の支援に結びついていくようにすすめられるべき。
33	学校図書整備及び図書館司書配置	・県立-町立はオンライン化されているが、町内公民館-学校と町立図書館のオンライン化と図書目録の共有化が図れるとよい。学校図書館司書の配置は、学校教育の実効性を高め、文字離れや調べ学習等に大変役立っている。
		・教員だけでは図書館の充実を図りにくいので、図書館司書の配置はよいと思います。
		・学校図書館に専門の方が配置されていて、図書館が前より整備されてよかった。
		・学校図書館職員の配置により、各小中学校の学びに寄与しているが、図書館システムの導入により更なる充実を図る必要がある。
34	教職員研修会(全教職員対象)	・夏の会は研究大会とあるが、内容が大会とはなっていない。来年度は小中一貫カリキュラムも完成するので、伯耆町教育の研究を深める会としたい。
35	学校要請訪問、学校随時訪問	
36	伯耆町教育振興会事業・生徒指導	
37	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	
38	小学校施設修繕事業	・修繕の必要性があるけど、まだできていないもの(課題)があれば、具体的に書き出しておくことが必要だと思います。
		・本年度から八郷小学校はクーラーが設置され、子どもの学習環境が整備されてよかった。子どもも喜んで勉強している。
		・学校間格差が目立っている。計画的に整備を進めて、同等の環境で子どもたちに学ばせていただきたい。
39	中学校施設修繕事業	・ケースに応じて柔軟な対応をしていただき、ありがとうございます。
		・溝中、水道管の点検が必要。
40	小学校施設耐震化等事業	
41	学校安全体制整備推進事業	
42	伯耆町教育振興会事業・学校事務	・学校備品の情報を共有し、貸し借りできるものを共有して、備品購入費を有効に活用できるようになるといいと思う。
43	地区公民館の連携	・公民館定例会を設けられたことは、大変良いことです。4館の連携を深めて、住民サービスの向上を図ってください。
		・公民館の連携は大切なことだと思う。住民の方へ開催された内容を公民館だよりに載せてみては。
		・人的交流とともに物的な交流(用器具、備品、書籍)も必要では。
44	生涯学習まちづくり推進事業	・CATVの有効な活用、特集を組みコミュニティスクールを町民に知らせるべき。
		・発行された内容について高齢者に見やすく、読みやすくしては。
45	図書館管理事業	・町内の図書館は職員の笑顔が大変すばらしく、とても入り易い雰囲気です。月1~2回は本の借り入れに行ってます。
		・図書館(学校)の本が増えた。町立図書館と連携がすすんでいるようだ。
		・たいへん良い取り組みである。さらに充実を図ってください。
		・図書のデータベース化を早急に図っていただきたい。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
46	図書館振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から大人まで体系的に取り組んでいただきすばらしいです。全体が目に見えるような形にして、もっとPRされてはどうでしょうか。 ・年間を通じて活発な活動を行っていると感じた。また、学校支援事業により各学校の学びの下支えとなっている。
47	鬼の館運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと音楽祭を例年鬼の館で実施されていますが、盛り上がりには欠けます。発表者は時間をかけて当日に備えていますが…。(人の集まりが少ない)場所とか運営方法の検討をお願いします。 ・せつかくのすばらしい館。もっと有効的に活用すべし。 ・立派な施設なので、たくさん利用してほしい。
48	青年の家管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・青年の家と冠するならば、あり方の検討が必要。
49	社会教育主事等の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・県の事業を活用して積極的に社会教育主事の養成を図っていただきたい。 ・研修会や資格取得について補助をしても良いと思う。 ・社会教育主事の計画的養成を図っていきたい。
50	高齢者教室交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会に参加されている皆様が生き生きと活動されていた。 ・4つの公民館合同の取り組みはたいへん良いです。文集「だいせん」の作成については、簡素化してはどうでしょうか。
51	生涯学習支援事業 (各種教室・講座の開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館とも頑張っておられると感じました。
52	社会教育委員及び図書館協議会委員	<ul style="list-style-type: none"> ・図書協会では建設的な意見が出ていると感じます。図書館利用者も随分増えているように感じます。 ・委員の活動が住民に伝わらない。 ・年2回の社会教育委員会では何もできない。一考を要する。
53	スポーツ推進審議会事業	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の内容が住民に伝わっているのか。
54	スポーツ推進委員事業	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の人数が少なく活動が見えない。 ・元スポーツ推進員も含めた拡大委員会組織等で、スポーツ推進計画の立案と計画実施をしてはどうか。
55	スマイリースポーツクラブ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・八郷と岸本チームは協力し合って野球チームを盛り上げている。それで活躍もできている。 ・専門的な町職員を採用してはどうか。 ・スポーツクラブ指導者の資格取得等スキルアップを図ることが必要。
56	オールジャパン・ジュニア・トライアスロンin伯耆補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・伯耆町における大きなスポーツイベントなので町民あげて協力が必要。 ・オリンピック、国体等でもトライアスロンの認知度も高まってきている。一層活発な広報等で全国展開を図りたい。
57	伯耆町駅伝	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから大人まで、日光の自然の中をタスキをつないで走る。最高ではないでしょうか。これからも続けて行って欲しいです。 ・道路を走るので選手の安全安心な場所を検討すべき。 ・日本で一番短い駅伝で、すばらしい日光地区を走る体験はとても良い。(車などの安全には注意しながら)

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
		・参加者の拡大方策として、女性のみ・小中学生混合年齢合計チームなどを設けて、一般ランナーの参加を促すようにしてはどうか。
58	町内体育施設管理運営事業	<p>・400メートルのグラウンドがあったらいいですが…。</p> <p>・小学校の体育施設を利用される団体(スポーツ少年団など)と学校との定期的な連絡会を開催していただきたい。</p> <p>・多くの人が集まりやすい出かけようと思うような施設管理が必要。草だらけで安全面や衛生面に欠けた施設が多すぎる。</p> <p>・管理的な運営事業のほか、利用者拡大のための企画運営を行う体制充実が求められるのでは。</p>
59	伯耆町体育協会補助事業	<p>・スポーツ団体への支援・表彰など継続してほしい。</p> <p>・総合型地域スポーツクラブと町体協の融合は、鳥取県での先導的試みであり、人口減の中で民間活力を得てのスポーツ事業は、今後のあり方としてモデルとなるものであり、成功させていただきたい。</p>
60	体育施設改修事業	<p>・改修工事を行う場合は、計画段階から学校の意見を取り入れるようにしてもらいたい。</p> <p>・住民が安心してスポーツができる場所なので、悪いところはなおしていくべき。</p> <p>・体育スポーツ活動の発展には安全安心な施設・用具とともに機能向上のため用器具の充実を図ることが必要。</p>
61	各種スポーツ団体補助事業	<p>・補助事業については良いと思う。</p> <p>・冬季等、屋外で不可能なスポーツの実施のため、小規模であっても活動可能な施設の確保が求められる(年間を通じた身体活動が可能となるため)</p>
62	地区運動会・その他イベント開催事業	<p>・中学校の生徒が参加するのに同日開催となればうれしい。</p> <p>・子どもが少なくなり、高齢者が多くなり、種目の検討が必要。</p>
63	青少年育成伯耆町民会議運営支援	・高校生ユースセミナーのように中高生のニーズ、やりたい活動を調べたり、集まって自由に話し合っ活動する場を提供したりして、若い世代の活力を育むような施策があるとよいと思います。
64	成人式	・社会人として節目であり行うべきである。
65	通学合宿事業	・参加した児童にはそれなりの意義があるが、老朽化した施設等で使用しづらい面があり、継続は難しい。
66	高校生ユースセミナー	・もっと高校生の参加がほしい。
67	読谷村教育交流	・他県との交流・文化を大切にしてほしい。
68	人権教育推進事業	
69	人権教育・啓発推進協議会補助金	<p>・懇談会に派遣する講師の人選と事前研修を工夫してもらいたい。</p> <p>・今までどおり続けてほしい。</p>
70	男女共同参画推進事業	<p>・共同参画推進事業は、特にどのようなことをされたのか。成果があったのか。</p> <p>・ひまわりセミナーの講座として広く、皆の話題になることを願っている。</p>
71	町営住宅修繕事業	・1件の修繕費用はどれくらいなのか。現在、何人使用されているのか。
72	文化センター管理運営事業	・学習会のあり方を考える必要あり。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
73	地域文化活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館活動で練習に励んでおられるので、やはり発表の場があると、励みになって良いのでは。 ・文化活動の拠点としての鬼の館の使用について一考を。
74	埋蔵文化財調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回程度、現地説明会、報告会を開催してほしい。 ・伯耆町に埋蔵文化財が出ることは大変いいことだと思う。地位の方の協力も必要。
75	文化活動団体支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・活動支援は大変いいと思う。
76	文化財保護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の神社の歴史について八郷小で教えた。子どもたちは喜んで聞いて学んでくれた。大原千町の歴史を説明した。
77	文化振興会補助事業	
78	写真美術館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・財政の厳しい状況の中、様々な取り組みをされ、素晴らしいと思っております。今後の取り組みを楽しみにしております。 ・植田正治先生の展示も20年過ぎ、私は先が見えてる感じがする。住民の方が足を運ぶ美術館にしてほしい。
79	写真芸術・文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町内町外からの作品を展示すれば入館者も多くなると思う。
80	写真美術館改修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・20年で外壁汚れ除去は早いと思う。
81	地区文化祭・まつり開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年各公民館祭りを見に行っていますが、それぞれ地域の特徴が出ていて、楽しんでいます。 ・地域の人たちが、じげの魅力を発見したり確認したりできる催しはよいと思います。 ・(溝口)運営、会場、内容に工夫があり、地域に発信する祭りとなりつつある。 ・地区祭りの行事に小中学生を積極的に参加させている。 ・地区住民が一体となって開催することは活性化につながると思う。 ・出品・参加の減少が見られる地域もあり、企画や運営の検討が必要になる時期がくるのではないか。

○その他教育行政全般についての意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長及びPTA会長、スポーツ審議委員、学校支援地域本部地域教育協議会委員に送付し、無記名で意見書を返送していただいたものを掲載しています。

・教育と福祉の連携、教育委員会と福祉課及び総務課等が連携・連絡をすることで、さらに町行政の発展につながるのではないかと考える。特に保と小中の連絡は互いに異なる行政システムの中にあり、現場でもすれ違いが多いように思う。法律での制約はあると思うが、連絡・協力・協働の意識の醸成が必要。児童クラブ等学校の敷地内にあり、施設も利用しているが学校との連絡はまだ十分とは言えない。町の実施している教育行政全般において、やや広報が不足していると感じる。鬼の里TV等のメディアを活用してみてもどうか。

・教育に対する手厚い支援ありがとうございます。行政の方や議会(員)の方が、現場をもっと見られることが大切だと思います。

・事務局の雰囲気がいよ。又、町民の意向を組み入れながら教育行政がなされていると感じる。

・学校行事に地域のことが取りあげられて喜んでいる。(例えば、しいたけづくり、ぶどう栽培について)交通安全も地域が一生懸命がんばっている。「ありがとうございました」という会釈がよい。

・詩の暗唱を聞いたり、家庭科のミシンを使うとき、小学校のボランティアに行くことがある。生徒の挨拶がきちんとされうれしい。中学生の職場体験で図書館・保育所に行っている生徒に会った。いきいきと行動している様子に良い体験をしていると感じた。

・教育とは何ですか。教育行政とは何ですか。この、学校の宿題のようなチェックシートに何を求めておられるのですか。81もの項目を見せてもらっても、「あーそうですか」としか言えません。この評価のためにかわられた多くのエネルギーがもったいなく思います。大事なところが見えません。

・トップアスリートの派遣事業の推進で各学校の児童・生徒の意欲の向上につなげてほしい。

・多くの事業が行われているが、町民(特に子どもたち)にとって有意義な事業となるように慎重な検討と細心の準備をもって行われるように期待する。

・事業名称でカタカナ名称が多い。一般住民には分かりづらい面もある。学校や体育施設で環境整備がなされず草木が伸びほうだいの所がある。衛生面・安全面で不安。町外の利用者が「廃校になった学校のグランド」と語った施設もある。気持ちよく人の集まる場所にしてほしい。

・多方面にわたる取り組みがよくわかり、大変参考になりました。

・地域住民が色濃く関わる保・小・中学生への教育施設に共感する。少子化・核家族化の中で家庭教育を代替える一層の地域の教育力を活用した方策を望みます。

○報告書個別事業に対する教育委員の意見等

No	事業名	意見内容
1	伯耆町教育振興会 事業・地域教育	・保育所、学校等が一堂に会することは難しいが、連携は必要なので廃止ということ はあってはならない。 ・放課後子ども教室だが、上学年と下学年とで時間帯がちがひ、保護者は迎え等に 苦慮していると聞いた。始めたばかりだとは思いますが、時間等をもうちょっと調整・検討 すべき。
2	家庭学習の手引き 配布事業	・岸本小学校では漢字の書き方を教えないと聞いた。そこまで家庭でしないといけ ないとなると負担が大きい。家庭学習について、「〇年生は〇〇をする等」、具体的 なものを示すべき。
7	家庭教育支援事 業	・保護者を対象とした講演会等を開催され、参加者が多いことはいいことだ。
18	青雲寮管理運営 事業	・利用頻度等を考慮して、施設の在り方について考えていくべき。
20 ～ 23	給食センター関 係	・栄養バランスのとれた給食を食べれることは、地元の生産者等の協力があってで けることで感謝しなければいけないが、給食費の未納が気になる。
21	学校給食施設管理 運営事業	・給食センターの民営化の話があり、今後、施設改修等がおこなわれると聞いた。 保護者からは、その間弁当が必要なのかなど色々聞いている。そういったことを 含めた話の進め方が必要では。
38 ～ 40	小中学校施設関 係	・学校計画訪問をしてみて、近年の施設改修等で環境がよくなっている。
45	図書館管理事業	・学校と図書館とのオンライン化をできるだけ速やかに検討すべき。
46	図書館振興事業	・溝口図書館は、本の配置がよく、分かりやすいと聞いた。
74	埋蔵文化財調査 事業	・旧日光公民館にある文化財だが、埃がかぶっている状態。これでよいのか。

○教育行政全般に対する教育委員の意見等

<p>・検討してならよいが、何にしても「昨年どおり」はだめ。得てしてそうなりがち。事業は定着させて成果をみ ることからである。</p>
<p>・各事業で、カタカナ表記が多く、分かりにくい。テレビを使って宣伝した方がよい。</p>

●教育委員会の活動(点検及び自己評価)

施策	番号	項目	概要	主な成果等	評価		
				教育委員自己評価等(課題・改善方針・今後の展開等)			
教育委員会の活動	1	(1)教育委員会の会議の運営状況	教育委員会会議開催	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会開催回数13回。案件数101件を審議した。 ・定例会は適当である。特別に協議が必要なときは臨時に開いているので問題なし。 ・課題といえるかわからないが、日程調整されるのが大変だと思う。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		教育委員会会議の運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・慎重な審議と会議の効率化を図る。(定例会の議案または資料を事前に配布する) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の効率化のため、議案等資料を1週間前に送付した。 ・現状でよい。資料の事前配布は特に前もって見ておく内容の時ではないのでは。 ・資料はいつも約1週間前には送付していただいて大変助かっている。あまり前に読むと忘れてしまい、期日が近づいてから読み直すという具合になっている。資料の多いときは全部読み切れないので、ご迷惑をかけているが、そのお蔭で慎重審議が出来ていると思っています。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
	2	(2)教育委員会活動の保護者や地域住民への情報提供・情報発信	広報活動の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の自己点検と評価等をホームページ等で掲載し、住民への情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検及び評価等を、毎年9月議会にて報告するとともに、町ホームページにて掲載した。 ・許される範囲で情報提供すべきと思う。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		議事録の開示・公開の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開示請求があれば、議事録の開示を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録の開示等請求があれば開示を行うが、H27は請求なし。 ・請求があれば許される範囲で開示すべきと思う。 ・教育委員会そのものが公開なので、議事録の開示は問題はないと思う。ただし非公開事項は開示しない。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	

施策	番号	項目	概要	主な成果等		評価
				教育委員自己評価等(課題・改善方針・今後の展開等)		
(3)事務局の管理運営	3	教育委員会の事務局管理運営	・事務局の事業実施状況を把握し、助言を行う。	<p>・事業の実施状況で、必要なものは、その都度教育委員会に報告し、助言等いただいた。(議会提出案件、溝口地域新しい学校創り協議会協議事項、全国学力学習状況調査結果など)</p> <p>・現在、特に管理運営上の問題は見当たらない。</p> <p>・事務局の業務はたくさんあるので、実態を把握するのはとてもできない。私としては職員の皆様に信頼しております。委員会の時にいただいた資料で確認をし、分かる範囲で助言していけたらと思う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
(4)町長部局との連携	4	教育委員会と町長部局との連携	・町長との懇談会を実施する。 ・総合教育会議を開催し、町長部局との連携等、協議・検討する。	<p>・H27は、総合教育会議を2回開催し、町長部局との協議・検討を行った。</p> <p>・現在行っている程度でよい。必要なときには設定していくことも考えたい。</p> <p>・数年前から町長さんとの懇談会は実施しており、総合教育会議も昨年からは始まった。一般的な話題から教育に関することと等、町長さんと身近に話せることは大変有意義なことだと思う。これからも町長部局と連携をとり、よりよい伯耆町となるように協議、検討していきたいと思えます。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
(5)教育委員の自己研鑽	5	学校訪問	・小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。学校運営の取組を聴取する。また学校行事等へ参加する。	<p>・学校訪問を行い、小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。また学校行事(運動会、体育祭、学習発表会、文化祭、卒・入学式など)</p> <p>・現在の程度でよい。視察・訪問が深く専門的になってもいけない。学校の施設や児童生徒の活動状況ができればよい。</p> <p>・授業参観については、先生方が学校運営方針をどこまで取り入れて子どもたちに伝えているか、先生と子どもたちとの関わり方が見られるのでとても参考になる。そういう意味でそれぞれの学校の特徴があり、楽しみです。先生方との懇談は、レベルが違いすぎて私には苦痛です。学校行事等の参加は、運動会・学習発表会・文化祭を見に行ったりしか出来ませんが、日頃の学習や練習の成果が十分に出ていると思います。卒・入学式はどの学校も整然と行われています。一年一回の告辞には、毎回緊張の連続です。</p> <p>・各校の特色が理解しやすく、私自身の学びとなった。保護者の様子も見てみたいと思うので各校の行事へもう少し参加していきたい。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

施策		番号	項目	概要	主な成果等		評価
					教育委員自己評価等(課題・改善方針・今後の展開等)		
		6	所管施設の訪問	・体育施設・社会教育施設等を訪問し、要望等現場の声を聞く。	<p>・H27は、溝口公民館、岸本公民館で定例会を開催し、あわせて当該施設の事業進捗状況等を報告した。</p> <p>・公民館の訪問はよい。他の施設も何年に1回は訪問して活動状況を把握することもよい。</p> <p>・主に公民館を訪問することが多いですが、地域にあった行事をしております。ただ、どこの公民館も人集めに苦勞しておられるようです。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上